※令和３年度以前入学生用

学校番号	１００５

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	子どもの発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「子どもの発達と保育」（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子どもの発達に関心をもち、積極的に取り組みましょう
・子どもの保育環境や大人との関係性が、児童期・青年期・成人期を生きる上で、非常に大きな影響を受けることを理解し、保育の大切さを学びましょう。
・夏休み中と冬休み中の保育所実習を通して、こどもと触れ合い、こどもの発達段階や生活の様子を観察します。意欲的に体験して学びましょう。

２　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身に付けている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見出し，思考を深め，適切に判断し，自身の考えを表現する能力を身に付けている。	子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。また保育所実習において子どもと適切な関わり方ができている。	子どもの発達の特性や発達過程,保育などに関する知識を習得し,子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解している。
評価方法	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・学習状況の観察	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・学習状況の観察	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・実習製作物 ・学習状況の観察	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・学習状況の観察 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	子どもの発達の特性	・学習目標と学習の進め方 ○子どもの発達 ・発達と乳幼児期の意義 ・発達と保育環境 ・発達観・児童感の変遷	○	○	○	○	a. 人間の発達に関して興味・関心をもち，特に乳幼児期の発達について学ぼうとしている。 b. 現代における発達観を踏まえて，自分自身が現在どのような児童観・発達観をもっているのか、客観的に分析し考察できる。 c. 乳幼児に適した保育環境について、情報を収集し整理することができる。 d. 乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であることを理解している。乳幼児に適した保育環境を理解している。	授業観察 授業プリント ワークシート 定期考査
	子どもの発達過程	○子どもの発達過程 ・身体発育と運動機能の発達 ・認知機能の発達 （知覚、言語、情緒、知能、社会性） ・人間関係の発達	○	○	○	○	a. 子どもの発達の特徴について関心をもっている。 b. 子どもの発育・発達には、さまざまな条件や要素が必要であることを理解し、考えを深めている。 c. 子どもの発達の観点から、親のとるべき行動を推察し，母性・父性の関わり方に生かすことができる。 d. 子どもの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。	授業観察 授業プリント ワークシート 定期考査
	子どもの生活	○乳幼児の生活の特徴と養護 ○生活習慣の形成 ○健康管理と事故防止 ○実習:おやつ作り ○実習:フェルトの名札製作	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a. 子どもの生活に関心をもち、理解しようとしている。 b. 子どもの生活について考えを深め、実習では工夫がみられる。 c. 実習を通して子どもの生活について考察し、客観的に分析し、それらをまとめることができる。 d. 子どもの身体的・生理的な発達の特徴について理解している。健康で安全に生活するために必要な知識を身に付けている。	授業観察 授業プリント ワークシート 実習レポート 実習製作物 定期考査

※令和３年度以前入学生用

2学期	子どもの保育	夏休み保育所実習 ・保育実習レポート製作 ・保育実習レポート発表 ○子どもの保育 ・保育の意義と目標 ・保育の方法 ・保育の環境 ・家庭保育と集団保育 ・実習:布絵本製作	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○	a. 子どもにとって生徒自身が保育者(大人)であることを理解し、自らの果たすべき役割について考えようとしている。 b. 集団保育・家庭保育、それぞれの場面での子どもとの適切な関わり方について具体的に考え、まとめることができる。 c. 実習を通して、発達の観点から子どもの行動などを観察する、子ども特有の行動パターンや感情表出などを推察するなど、子どもを養護するために必要な技能を身に付けている。 d. 保育の意義や重要性について理解している。	授業観察 授業プリント 実習レポート 実習製作物 発表
3学期		冬休み保育所実習 保育所実習レポート発表 ・実習:布絵本製作 ・布絵本読み聞かせ発表	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○		
3学期	子どもの福祉と子育て支援	○子どもの福祉 ・子どもの福祉 ・子育て支援 ・児童虐待 ・こどもの幸せ　ランキング、グループ発表 ・子どもと人権レポート作成、発表	○	○	○	○	a. 子育て家庭に対する社会的支援の必要性について関心をもっている。乳幼児期における発達に関わる適切な対応の仕方を学ぼうとしている。 b. 子ども・子育てに関わる問題点や課題について自身の考えを述べることができる。子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について考察することができる。 c. 現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決策について自身で情報を整理することができる。愛着関係の重要性についての情報を整理できる。 d. 子育て家庭に対する社会的支援を充実させる必要性や望ましい方向性について理解している。	授業観察 授業プリント レポート 実習製作物 発表

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。